

NPO法人 くにたち農園の会 2024年度 活動報告書



「くにたち農園の会」につきまして

2013年にコミュニティ農園「くにたち はたけんぼ」を開園。2016年にNPO法人として設立。現在、「はたけんぼ」を筆頭に、「子育て古民家 つちのこや」「ゲストハウス ここたまや」「認定こども園国立富士見台団地 風の子」「レンタルスペース 畑の家」と5つの事業所を展開。「くにたち はたけんぼ」には年間7,000人以上の方々を迎えています。「耕そう！遊ぼう！つかみ穫ろう！東京の田畑で育つ生きる力」をテーマに、「土に根差し 共に育つ たくましい地域を次世代へ」の実現を目指しつつ、「農体験」と「子育て」を2本柱に、田畑とつながる子育て支援や多様な人々への農や自然体験を実践しています。
(くにたち農園の会ホームページ <https://k-nouennokai.org/>)

ご挨拶

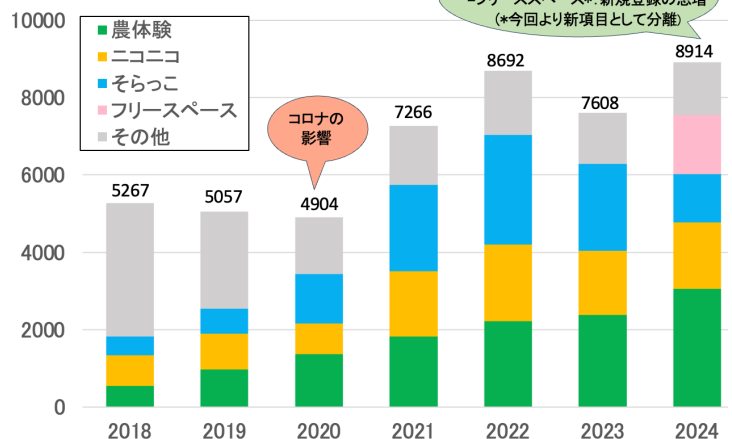
2023年5月の総会にて理事長の職務を引き継ぎ、1年が経とうとしています。この1年で多くの進捗がありました。農園事業においては、稲作/小麦作り等の農体験への参加者が堅調に増加。また「畑の家・みんな畑」では多世代交流活動や東京都事業の一環の「HOTTATE」プロジェクトを実施。観光事業では世界中で利用されている民泊サービス「Airbnb」から世界120団体(日本では4団体のみ)への基金の対象に選定されました。子育て事業としては「つちのこひろば」で「医療的ケアっこのじかん」など新たな取り組みをスタート。「フリースペースはたけんぼ」は登録者が約50名の安定した活動となりました。また「認定こども園 風の子」では2025年度からの新体制づくりを目指しています。加えて、田園風景と子育てのしやすさが評価され、10月にはスーモの「住み続けたい街ランキング2024(東京市部版)」で「谷保が第一位に！」。その中で「はたけんぼ」、「ここたまや」等が事例として紹介されています。引き続き、2025年度も更なる進捗を目指して参ります。是非、助け合える楽しい地域をつくっていきましょう。

理事長 武藤芳暉

武藤 芳暉



はたけんぼ来場者推移(2018-24年度)



<農園事業>

農体験事業 稲作・畑体験

「農」と「子育て」の二本柱を軸に運営をしている当会ですが、「農体験事業」の中でも基幹プログラムである「田んぼ体験」は一年間を通して稲の成長に接することができる有意義なプログラムになっています。

2024年度は稲作体験含め、のべ3,371人が農体験プログラムにご参加いただきました。2025年度は昨今の米の小売価格の急騰により米の大切さが見直されてか、昨年を上回る数の申し込みを受けています。加えて、「小麦体験」「蚕」「綿」「草木染め」体験等も実施。「草木染め」体験は2024年度より一層力を入れて活動を行っており、その原材料となる綿花や藍の栽培も継続しております。並行して、2025年度から東京都市大学との用水における生態系研究への協力を開始、特に絶滅危惧種のトウキョウダルマガエル(トウキョウダルマガエル)の調査に力を入れています。

(武藤芳暉)

[活動記録、活動実績]

参加者累計: 3,371名
親子田んぼ体験: 1,556名
大人田んぼ体験: 227名
田んぼ/小麦体験(*) 1,405名
その他183名
(*: 外部協力プログラム)

<田んぼ体験>

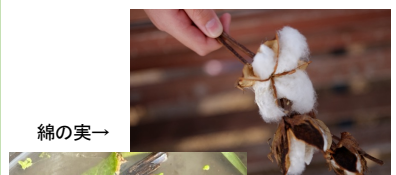
種まき/5月、田植え/6-7月
草取り/6-7月、稲刈り/10月
収穫祭/11月、注連縄/12月
餅つき/1月

<その他>

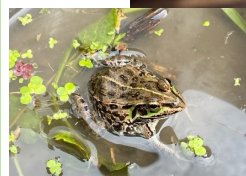
くにたちどろまみれ/国産花
火大会/はたけんぼ動物園/
小麦/綿/蚕/染め物/他



稲刈り:大人の田んぼ倶楽部



綿の実→



←トウキョウダルマガエル

＜農園事業＞

畑の家・みんな畑

2024年度は草木染め、手仕事クラブといった事業開始当初からのワークショップが安定開催。特に草木染めは年間コース制の導入で参加が増加し広がりました。

レンタルスペースは利用頻度こそ多くないものの、「畑の家」が映画撮影<*>の舞台となりました。「みんな畑」は、コミュニティ菜園の利用に減少が見られましたが、広場としての活用が可能となり、国立市助成の「多世代交流拠点みんなの家」が活動を開始し、また、中学生による「HOTTATE小屋」が東京都の子供の「遊び」推進プロジェクト助成事業に選ばれ、広場でイベントを開催しました。コミュニティ菜園の活性化は今後の課題ですが、広場を中心とした多世代交流は着実に進展し地域に開かれた場になっています。

<*: 映画「あなたの息子ひき出します！」監督 深川栄洋氏>

(安斎亜由美)

[活動記録、活動実績]

＜畑の家＞

利用回数 200(102)回

*()内当会以外の利用回数

利用時間総数 806時間

月平均 67時間

＜イベント総計＞190名

染色 89名

酵素づくり等 75名

手しごと倶楽部 26名

(3月末現在)



HOTTATE小屋

藍染め



桜染め

＜観光事業＞

ゲストハウス ここたまや

学生団体「たまこまち」には過去最大の新入生加入があり30名ほどの大所帯となりました。ゲストハウス運営もたまこまちにノウハウが蓄積され安定感がでてきたところです。

嬉しいニュースとしては世界最大級の宿泊プラットフォーム「Airbnb」より世界120の優良団体(日本では4団体のみ)に贈られるコミュニティ基金の対象に選ばれたことが挙げられます。

多摩地域の他民泊との関係性があって推薦いただいたもので、その報告も兼ねて町田市の「みんなの古民家」にて民泊経営者、たまこまち、農園の会による観光勉強会を開催することもできました。

観光、農泊事業を通して地域から世界へとつながっていると実感できる機会となりました。

(小野淳)

世界120団体
(日本では4団体のみの)
1つとして
選ばれました！

[活動記録、活動実績]

宿泊日数:116日

宿泊者:142名

(うち外国籍6名)

延べ宿泊日数:240日

アパート利用者6名

外国人による長期滞在需要が増え、国内利用でも1か月以上滞在のアパートとしての利用者が増加、実質の稼働率は高くなっている。



町田市「みんなの古民家」で観光勉強会を開催



学生団体「たまこまち」30名越え

＜子育て事業＞

認定こども園国立富士見台団地 風の子

風の子の保育目標は“思いっきり遊べる元気な子”

より広く園を知っていただけるように園舎から道路に面して新たに看板を設置しました。

また、保護者が主体となってとりくむ「はらっぱ活動」においては日本におけるプレーパークの第一人者と言える天野秀昭さんにお越しいただき、様々なアドバイスもいただくことができました。

給食室と連携して、地域に開かれた食の場「風の子キッチン」を毎月開催し、多くの方が訪れる場になっていました。

体制的には大きな変化の年となりましたが、引き続き地域と一体となった保育、子育ての場づくりに取り組んでまいります。

(小野淳)

[活動記録、活動実績]

園児数

たんぽぽ(3歳)12名

どんぐり(4歳)13名

ひまわり(5歳)12名

＜園行事＞入園式/親子遠足/バス遠足/日曜参観/お泊り保育/夏季保育/夏・秋祭り/運動会/秋の遠足/焼き芋/お楽しみ会/餅つき/レストランやさん/お別れ遠足/卒園式/他 誕生会や季節行事

＜地域に向けて＞風の子キッチン10回開催 園庭開放12回開催



＜子育て事業＞

国立市地域子育て支援拠点事業 つちのこひろば

開所7年、国立市をはじめ府中市等多方面から古民家拠点「つちのこや」にお越し頂き、子育て家庭の交流の場となっております。

2024年度は「おもちゃ作りのじかん」「ママ部活」をスタートさせ、利用者さんからは「なかなか家ではできない事」と好評の声を頂きました。また、「医療的ケアっこのじかん」を設けたり、開所時刻を16時までに延長したりと多くの方が利用できるひろばになりました。

2025年度はさらに、家庭ごとに異なる子育て状況を踏まえ、ひろばを利用したくても利用できない方々が地域と繋がりが続けるための「おうちひろば（訪問支援）」を開始します。今後も子育てを地域で担う拠点にしていきたいと考えております。

（小林明枝）

〔活動記録、活動実績〕

利用者数：2,963名（上半期
1,155名、下半期 1,808名）

＝あそびの講座
わらべうた、音楽・表現あそび、医療的ケアっこのじかん、畑びよりなど
＝まなびの講座
離乳食講座、歯育て講座、ゆる防災、発達おしゃべり会、ママ部活など
＝出張ひろば
城山で遊ぼう！、中地域防災センター
＝その他
プレママプレパパ見学会、絵本シアター、リサイクルリンク事業など



ママ部活



畑びより

＜子育て事業＞

放課後クラブ ニコニコ

放課後クラブニコニコは2025年7月で活動開始より10周年となります。2015年に国立市の「子どもの居場所づくり助成金」を利用し、初回参加者1名からのスタート。最初の参加者と「ニコニコ」という愛称を決定し、細々と活動を継続しました。2020年までに参加者は徐々に伸び、年間参加者900名程度で推移していましたが、2020年のコロナウィルスの大流行による外出自粛の反動、野外の居場所への需要を受け2021/22年度は年間2,000名程度に。2023/24年度は参加者数はやや減少し1,700名程度で、賑やかにワイワイの日も、少人数でまったりの日もあります。

農業を軸とするプログラムも定番化し、はたけんぼで子どもが遊ぶ光景はすっかり日常になりました。さまざまな方の参加を可能にするため、法人負担での参加費免除も行なっています。

（村井里子）

〔活動記録、活動実績〕

参加者累計：1,728名

＝田んぼ（種蒔き/田植え/収穫/竈門新米ごはん）
＝綿と藍（種蒔き/収穫/藍の生葉染め/綿紡ぎ/機織り）
＝その他野菜栽培
＝焚き調理（炊飯/味噌汁/お月見団子/ピザ/うどん/味噌/餅つきなど）
＝クラフト（竹・木工）
＝他（ハロウィンコスプレ/やぎ散歩/ペットボトルロケットなど）



はたけんぼのアオダイショウと



てづくりおやつ



毎年恒例、新米かまどご飯

＜子育て事業＞

森のようちえん 谷保のそらっこ

「空の下であそぼう」が合言葉！2024年度は、にじっこひろば（親子）を金曜日、はっぱひろば（幼児小学生）を金曜日と日曜日に行い、多くの親子や子どもたちと活動することができました。畑仕事や田んぼの1年の他に、感触あそびや手しごと、工作などを取り入れ、多くの経験をすることができました。

2025年度もはたけんぼの自然の中で、かけがえのない親子時間や子ども時代を過ごし、自然の不思議に触れ、自然科学の学びを通して知的好奇心の種をまく、そんなひろばでありたいと思います。今後も、そらっこらしい温かな子育ての輪を広げ、五感を耕し、たくましく生きるための根っこを育て、一人ひとりが夢中になることを見つけて目を輝せる瞬間を共にしたいと思います。

（荒木友梨）

〔活動記録、活動実績〕

年間60回開催
延べ1,352人参加

＜はっぱひろば
& にじっこひろば＞
田んぼの1年（代掻き、田植え、稲刈り、脱穀）、ナイフワーク、季節のクラフト、粉、スイカ割り、木工、寒天、水鉄砲作り、染物、しめ縄づくり、レザークラフト、キャンドル作り等

＜ファミリー企画＞
ヤマメつかみ取り、お馬さんと遊ぼう

ママ下湧水公園で水あそび（にじっこひろば）



手作り水鉄砲！（はっぱひろば）

<子育て事業>

フリースペース はたけんぼ

2024年度の登録者は約50名となり、国立市をはじめとした近隣校で学校の出席扱いとして認められ、学びの多様化としての居場所につながっています。国立市の教員研修の場となり、先生方に活動を体験いただく機会もありました。

江ノ島や登山にも出かけ、体力と自信をつけ、仲間との絆を深める場面も多くありました。一年間の学びをポートフォリオにまとめ、発表する機会も設けました。運営費については、東京都フリースクール等支援事業補助金、イベントでは子供の「遊び」推進プロジェクトの助成を活用し、「畑の家・みんな畑」等にて「子どものためのHOTTATE(ほったて)小屋」を行いました。

幅広い年齢層で過ごす中で、子どもたちの一人ひとりの興味関心を深め、思いっきり好きなことに没頭する時間、他者とのかかわりを大切に、応援して下さる皆さまに感謝し、よりよい活動が続けていきます。

(荒木友梨)

[活動記録、活動実績]

年間151回開催
延べ1,794人参加

<思い思いに>

火起こし、料理、動物のお世話、鬼ごっこ、木工、生き物探し、散策 他

<みんなで協力>

パーティー企画(ハロウィン/クリスマス)

<遠足>

海でカヌー、登山

<他団体や行政連携>

教員研修(国立市)、留学生との交流、「HOTTATE小屋」PJ(東京都)、学びの多様化研究参画(東京都)



1年の学びを説明中



1年を振り返って自己評価

<子育て事業>

旅するがっこう

はたけんぼを飛び出して、大いに冒険した1年でした。

春: (1泊2日) はたけんぼキャンプ

(4泊5日) 北海道いぶり自然学校(白樺シロップ作り/森作り)

(2泊3日) 長野 森のあそび場作りキャンプ

夏: (5泊6日) 北海道いぶり自然学校(森づくり/カヌー/SUP)

(4泊5日) 五島列島福江島

秋: (1泊2日) 相模湖キャンプ場(カヌー)

冬: (2泊3日) 菅平スキーキャンプ・思いっきり雪あそび

海・山・川・森・雪…年間50日を超える<旅>。非日常の体験の中に、多くの遊びと学びが詰まっています。「好きなことに没頭できる」「自分のやりたいことに全身で向かう」ことが、子どもたちの心と体を解放させ、エネルギーを充電し、一人ひとりの個性や力を伸ばしていくことを旅に出ると実感します。今後も子どもたちと様々な体験・チャレンジができる機会を作っていきたいと思います。

(荒木友梨)

[活動記録、活動実績]

<日帰り旅>

実施回数 15回

参加者 延べ208人

江の島カヌー

葉山磯遊び

御岳ラフティング

登山 他

<宿泊旅>

実施日数 41日間

参加者 延べ314人

長崎 五島列島福江島

長野 森のあそび場作り

千葉富浦、地引網

北海道イコロの森

相模湖カヌーキャンプ

長野スキーキャンプ

長野思いっきり雪遊び



ラフティング 多摩川ヘジャンプ!



赤城山山頂にて



特定非営利活動法人 くにたち農園の会

〒186-0011 東京都国立市谷保5119(やばろじ内)

電話 042-505-7200

2016年12月2日 非営利活動法人内閣府認証取得

2016年12月15日 設立(登記完了)

<役員/事務局>

理事長: 武藤芳暉、副理事長: 佐藤有里/小野淳

理事 3名、監事 1名、事務局長 1名

<事業所>

○コミュニティ農園「くにたち はたけんぼ」

○田畑とつながる子育て古民家「つちのこや」

○畑つきレンタルスペース「畑の家・みんな畑」

○認定こども園「国立富士見台団地 風の子」

○ゲストハウス「ここたまや」

<ホームページ>

<https://k-nouennokai.org>



くにたち農園の会 事業所所在地

●くにたちはたけんぼ

東京都国立市谷保 661

谷保駅より徒歩 15 分

●つちのこや (「くにたち農園の会」事務局)

東京都国立市谷保 5119 やばろじ内

谷保駅より徒歩 7 分

☎042-505-7200

●畑の家・みんな畑

東京都国立市谷保 5069

谷保駅より徒歩 7 分

●ゲストハウス ここたまや

東京都国立市谷保 4372-1

谷保駅より徒歩 8 分

●認定こども園 国立富士見台団地 風の子

東京都国立市富士見台 3-7-1

谷保・矢川駅より徒歩 10 分

☎042-507-8667

googlemap

詳細地図は
こちらから
ご覧下さい